

令和7年度

第61回 沖縄産科婦人科学会 学術集会

プログラム



日時： 令和8年3月14日（土）13：00～

会場： 沖縄県医師会館

〒901-1105 南風原町字新川 218-9

開催方法： 現地開催

沖縄産科婦人科学会



## I 会長挨拶 (13:00~13:05)

## II 一般演題

### 第I群 婦人科 (13:05~13:35)

座長：長井 裕 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)

#### 1. 腹腔内を占拠する20kgの巨大子宮筋腫に対して子宮摘出術を完遂した症例

琉球大学病院 産婦人科

○下地 裕子、久高 亘、玉城 夏季、吉田 晃大、新垣 精久、平良 祐介、仲本 朋子、大山 拓真、  
関根正幸

#### 2. 卵巣粘液性境界悪性腫瘍摘出術後に再発し、閉塞性腎盂腎炎による敗血症性ショックをきたした一例

沖縄県立中部病院 婦人科<sup>1)</sup>、同 外科<sup>2)</sup>、同 泌尿器科<sup>3)</sup>

○濱崎 創平<sup>1)</sup>、小松 泰生<sup>1)</sup>、前川 泰輝<sup>1)</sup>、笈 咲陽子<sup>1)</sup>、林 伯宣<sup>1)</sup>、石塚 貴紀<sup>1)</sup>、中澤 毅<sup>1)</sup>、  
三浦 耕子<sup>1)</sup>、金城 国仁<sup>1)</sup>、高橋 慶行<sup>1)</sup>、橋口 幹夫<sup>1)</sup>、大畑 尚子<sup>1)</sup>、加藤 崇<sup>2)</sup>、田崎 新資<sup>3)</sup>、  
島袋 修一<sup>3)</sup>

#### 3. 当科における局所進行子宮頸癌に対する新規治療戦略

琉球大学病院 産婦人科

○大山 拓真、平良 祐介、玉城 夏季、吉田 晃大、下地 裕子、新垣 精久、仲本 朋子、久高 亘、  
関根 正幸

## 休憩 (13:35~13:45)

### 第II群 周産期 (13:45~14:35)

座長：池宮城梢 (那覇市立病院)

#### 4. 当科における神経性やせ症妊婦の検討

琉球大学病院 産婦人科

○佐川 若菜、知念 行子、米須育子、永島由喜、金城 淑乃、金城 忠嗣、銘苅 桂子、関根 正幸

#### 5. リンパ節腫脹以外の症状を欠き診断に難渋した肺癌合併妊娠の一例

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 産婦人科<sup>1)</sup>、同 循環器内科<sup>2)</sup>、  
同 血液内科<sup>3)</sup>、同 呼吸器内科<sup>4)</sup>

○神谷 優仁<sup>1)</sup>、砂川 空広<sup>1)</sup>、加藤 あさひ<sup>1)</sup>、屋比久 彩<sup>1)</sup>、兼村 朱里<sup>1)</sup>、屋良 奈七<sup>1)</sup>、  
土井 生子<sup>1)</sup>、星野 香<sup>1)</sup>、中野 裕子<sup>1)</sup>、山下 薫<sup>1)</sup>、浦添 千晶<sup>1)</sup>、佐久本 薫<sup>1)</sup>、長井 裕<sup>1)</sup>、  
円光 美也子<sup>2)</sup>、宮良 高史<sup>2)</sup>、橋本 頼和<sup>3)</sup>、稲嶺 盛史<sup>4)</sup>

## 6. 当院における帝王切開後経膈分娩(TOLAC)の検討

沖縄県立中部病院 総合周産期母子医療センター 産科

○前川 泰輝、小松 泰生、笥 咲陽子、林 伯宣、金城 国仁、橋口 幹夫、大畑 尚子

## 7. 流産後に大きい胎盤床復古不全 (subinvolution of placental site: SPS) が持続し、ホルモン療法を行ったが効果得られず、子宮動脈塞栓術を行った一例

琉球大学病院 産婦人科

○知念 行子、米須 育子、永島 由喜、金城 淑乃、金城 忠嗣、銘苅 桂子、関根 正幸

## 8. 卵子提供 19 例の臨床的検討

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 産婦人科

○浦添 千晶、加藤 あさひ、屋比久 彩、兼村 朱里、小崎 三鶴、屋良 奈七、土井 生子、  
星野 香、中野 裕子、山下 薫、砂川 空広、佐久本 薫、長井 裕

**休 憩 (14 : 35～14 : 45)**

## 第 III 群 不妊・内視鏡手術 (生殖・内分泌) (14 : 45～15 : 15)

座長：平敷 千晶 (琉球大学病院)

## 9. 当院のチョコレート嚢胞手術療法後の妊孕性の検討

空の森クリニック

○木村 剛、神山 茂、芝池 亜貴子、井坂 亮司、高山 尚子、寺田 陽子、福井 淳史、  
佐久本 哲郎、東 政弘、徳永 義光

## 10. 腹壁癒痕ヘルニアでメッシュ修復術後に、下腹部正中からアプローチし腹腔鏡下手術を施行した 1 例

大浜第一病院 女性腹腔鏡センター

○小祝 千夏、高橋 美奈子、徳嶺 辰彦

## 11. 当院の卵管留血症 32 例の検討 (病理所見を含めて)

空の森クリニック<sup>1)</sup> 中部病理診断科<sup>2)</sup>

○神山 茂<sup>1)</sup>、高山 尚子<sup>1)</sup>、木村 剛<sup>1)</sup>、芝池 亜貴子<sup>1)</sup>、井坂 亮司<sup>1)</sup>、寺田 陽子<sup>1)</sup>、  
福井 淳史<sup>1)</sup>、佐久本 哲郎<sup>1)</sup>、東 政弘<sup>1)</sup>、徳永 義光<sup>1)</sup>、仲間 健<sup>2)</sup>

**休 憩 (15 : 15～15 : 30)**

### III 総 会 (15:30~16:30)

休 憩 (16:30~16:40)

### IV 特別講演 (16:40~17:40)

司会：関根 正幸 (琉球大学大学院医学研究科 女性・生殖医学講座 教授)

#### 「ウィメンズヘルスの視点から見た妊娠糖尿病」

愛媛大学大学院医学系研究科 産科婦人科学講座

教授 杉山 隆 先生

#### 【演題発表時の利益相反状態開示について】

##### 1. 開示しなくてはならぬお筆頭演者

臨床研究に関するすべての発表において、利益相反状態の有無にかかわらず開示して下さい。

##### 2. 発表における開示方法

開示する利益相反状態は演題申込み1年前から発表時までのものとします。

利益相反状態の開示に関してはすべての日本産科婦人科学会「利益相反に関する指針および同運用細則」に拠ります。

#### 【確認事項】

- 講演時間は6分、質疑応答は4分です。  
スライド枚数に制限はありませんが、時間厳守でお願い致します。
- 日本専門医機構専門医 学術集会参加単位1単位、産婦人科領域講習単位1単位 (特別講演) を付与します。  
※機構専門医産婦人科領域講習単位付与につきましては、特別講演(質疑応答を含む)を50分以上聴講する必要があります。特別講演開始前の休憩時間に、再度QRコードのご提示をお願い致します。
- 日本産婦人科医会研修単位は、学会の学術集会参加単位のデータを移行し付与します。